

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道375号 作木・大和道路 起終点 自：広島県双三郡作木村大津 至：島根県邑智郡大和村上野	事業区分 一般国道 （一次改築）	事業主体 中国地方整備局 広島県・島根県 延長 6.1 km		
事業概要 一般国道375号は、広島県呉市から島根県大田市に至る延長約170kmの主要幹線道路である。 作木・大和道路は、広島県と島根県の県境部における交通隘路区間の解消を目的とした延長6.1kmの道路である。				
H6年度事業化		H9年度用地着手		
H10年度工事着手				
全体事業費 約160億円		事業進捗率 57%		
計画交通量 1,900台/日		供用済延長 0.9km		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.2	総費用 (残事業)/ (事業全体) 44 / 181 億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 223 / 223 億円	基準年 平成15年
	(残事業) 5.1	事業費：36 / 173億円 維持管理費：8 / 8億円	走行時間短縮便益 207 / 207億円 走行費用減少便益：14 / 14億円 交通事故減少便益：2 / 2億円	
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（現道の事前通行規制区間を回避する） <div style="text-align: right;">他17項目に該当</div>				
関係する地方公共団体等の意見 作木・大和道路は交通隘路区間の解消に重要な役割を果たすことが期待されており、大田市をはじめとする関係2市2町3村の首長等で構成される国道375号（大田・三次間）改良促進期成同盟会から早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 沿道町村の生命線であるが降雨時には通行止めになる等、周辺住民の生活が脅かされている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成10年度までに本線部の用地買収を完了し、全線にわたり工事を促進している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 全線にわたり工事を促進しており平成18年度の供用を目指し事業を促進している。				
施設の構造や工法の変更等 ・偏平なトンネル断面を採用し内空断面を縮小することにより、コスト縮減を図っている。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用などによりコスト縮減に努めている。				
対応方針		事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図 <p>The map illustrates the project route from Takaki (起点) to Onoda (終点). It shows the project length of 6.1 km, divided into sections: 0.9 km (already used), 4.0 km (directly used), and 1.2 km (used by Hiroshima Prefecture). Key locations like Takaki, Onoda, and various municipalities are marked. A legend indicates the status of the road: solid line for '供用中' (in use), dashed line for '再評価箇所' (re-evaluation area), and dotted line for '未供用中' (not yet used).</p>				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。